

阿知須町民憲章

- 一、勤労を尊び、奉仕の精神で励みます。
- 一、スポーツに親しみ、健康で明るいくらしを築きます。
- 一、生涯を通して学び、うるおいのある生活を求めます。
- 一、きまりを守り、温かい心のふれあいを広げます。
- 一、伝統と自然を大切に、住みよいまちをつくります。

昭和62年

8/5

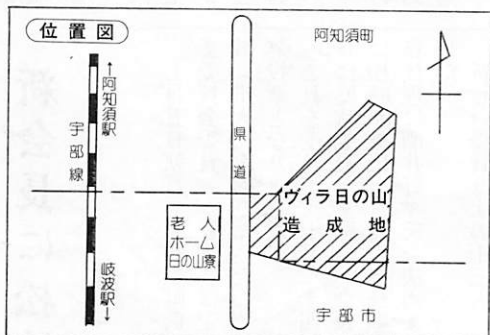
山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話 4111番(代) 754-12

広報あじす 毎月5日 発行
お知らせ版 毎月20日 発行

№.428



進む団地造成工事。来春に売り出し



「文化的で質の高い住宅都市」の創造をめざして、町内ではじめて計画だった住宅団地の整備が進められています。

質の高い住宅団地の創造

商工会・長期ビジョン

に合わせて62区画



場所は日の山養護老人ホーム前の本町と宇部市にまたがる。計画区画は阿知須側が四十六区画。道をへだてて宇部市側にも十六区画を予定しています。

町商工会が昭和五十七年度に阿知須の商業の長期ビジョン（未来像）をまとめたことに合わせての事業ですが、それは、大きくわけて

- ①旧商店街の整備
 - ②新しい商業中心地の整備
 - ③住宅地・住宅の開発整備
- の三つでした。今回の住宅整備は③の実現をめざすもので町の地域住宅計画（ホープ計画）にそって景観、ゆとりなど配慮することになっていきます。施工は有限会社阿知須町商工開発（野村大象社長・資本金千三百八十万円）。

この会社は町商工会指導のもとに、町内の物品販売、土木、建築、水道、電気工事など十一の業者が出資して昭和五十八年に設立され、商工会長が社長です。町内の人口増と活性化をめざし、一区画平均三百平方メートル（約九十坪）と余裕のある広さを確保するほか公園、集会所用地も配慮、共同浄化槽により水洗便所が使えるように設計されています。分譲は来春早々。販売価格は三・三平方当たり十万円以下の方針です。

団地名は現在のところ「阿知須ウイラ日の山」。「ウイラ」とは別荘とか郊外邸宅の意。

干拓の埋め立て「始動！」

ことし準備工、来年から土砂を

阿知須干拓地を埋め立てるための準備工事に近く着手し来年にはよいよ浚渫（しゅんせつ）の土砂を干拓地内に入れることがまりました。本町にとつてはことしは歴史的に記念すべき年となります。

海の土と山土で 28 m の地上げ

この干拓地はいま山口市が農林水産省から払い下げてもらうよう手続き中で、来年春までには譲渡契約が実現する予定です。しかし、工事については契約以前に着手の了解を得ており、山口市土地開発公社が山口市から委託されて造成工事を進めることになっています。

干拓地の現況は遠浅のところに堤防を築いただけで、中は大部分が着工前の海底の高さです。干拓地は食糧増産をめざして農林水産省が昭和二十二年に着工、三十九年に完工しました。面積は南工区が九十五ヘクタール、北工区が百九十一ヘクタールで合計二百八十六ヘクタール。事業費は十億四千万円余でした。

農業目的であるため完成時前後に三回、入植者や増反希望者を募集しましたが、国の営農計画に適合する人が少な

さです。

このため、これを有効利用するには、暴風雨時の潮位を計算し、平均二・八メートルの高さの埋め立てが必要で、このうち海を掘った土砂を二メートル置き、その上に山土を八十七センチ程度盛る必要があります。

海の土は小野田港を浚渫（しゅんせつ）したものを殆んど使う予定です。浚渫土による盛土工事は五年間、山土による造成はそれより二年程度遅れる見込みです。

浚渫土は小野田港から船で阿知須沖（じいばあ石付近）まで運んできて、海の中に落したものを、鉄管（長さ千メートル）を通してポンプ船で吹き上げることになっています。

しかし、これでは海が汚れるので一定の区域（五百m×二百m）の海底を四メートル掘り下げ、ここに土砂を落とす。その周辺には汚れが拡がらな

いため入植は実現せず、その後、農業に対する社会情勢の変化などで農地としての利用目的を変えることになりました。

テクノポリス建設の一環事業として

本町としては、この干拓地全域が「早く有効利用できるように、しかも、本町の財政

のためのビニール膜を二重に張ります。工期はノリの養殖時期を避けるため毎年四月から九月末までです。

今年度の工事は土砂を干拓に送る鉄管の敷設と干拓南工区内の一部に土砂で堤防を築くことです。来年四月からこの堤防内に海水と一緒に土砂を流し込み、うわ水だけ海へ流れ出るように配慮されます。

この工事に伴って山口湾の漁業の影響が懸念されるためこの工事を直接担当する運輸省が関係漁協（山口、嘉川、秋穂、東岐波、阿知須の五つ）と漁業補償交渉をし、七月に総額六千万円で妥結、埋め立て造成工事にかかることになったものです。

この補償金は昭和六十二年度から六十五年までの算定額です。しかし、工事は六十六年以降も続くので、それ以降については港湾整備計画の年次に合せて改めて協議のうえ決めることになっています。

運営が容易になるよう「配慮しながら折衝してきたところですが、山口市が全域を国から買い受け、テクノポリス建設の一環として事業を進めることになり急速に干拓地有効利用が実現化の運びとなったわけです。

本町が必要とする土地については、国↓県↓町という順序で買い受けることになりました。

新会長に松崎照雄氏

新しい農業委員決まる

七月五日執行の阿知須町農業委員会委員の一般選挙は定数（十人）どおりだったため無投票となりました。

これを受けて、七月二十四日に臨時委員会を開き、会長に松崎照雄氏（写真）、会長職務代理に酒井好孝氏を決めました。

新しい委員は次の十三人。敬称略（ ）は住所、当選回数



松崎 会長

- 委員 上田太一（野口②）
- 武永輝男（巨束②）
- 中戸秋吉（仙在①）
- 西山 泰（源河①）
- 福永陽吉（浜 ①）
- 藤重義春（岩辻①）
- 松崎正月（岡 ①）
- 正司重徳（議会推薦）
- 山本輝義（農協推薦）
- 浜村見一（農業共済）

農業委員は農地法、土地改良法などに基づく事務の執行機関として、農業や農民に関する事項について意見を公表したり、町長などへ建設的な意見を述べたりします。

なお、農業委員会へ申請書を出される場合、事前に農業委員会の委員へ相談するようにしてください。

投票率は五九・二%

参議院補欠選挙の結果

七月十二日執行の参議院議員山口選挙区補欠選挙の本町の結果は次のとおり。

- ▽当日有権者数 六一四一
- （男二七九三、女三三四八）
- ▽投票者数 三六三七
- （男一五九四、女二〇四三）

▽投票率 五九・二%

▽投票結果

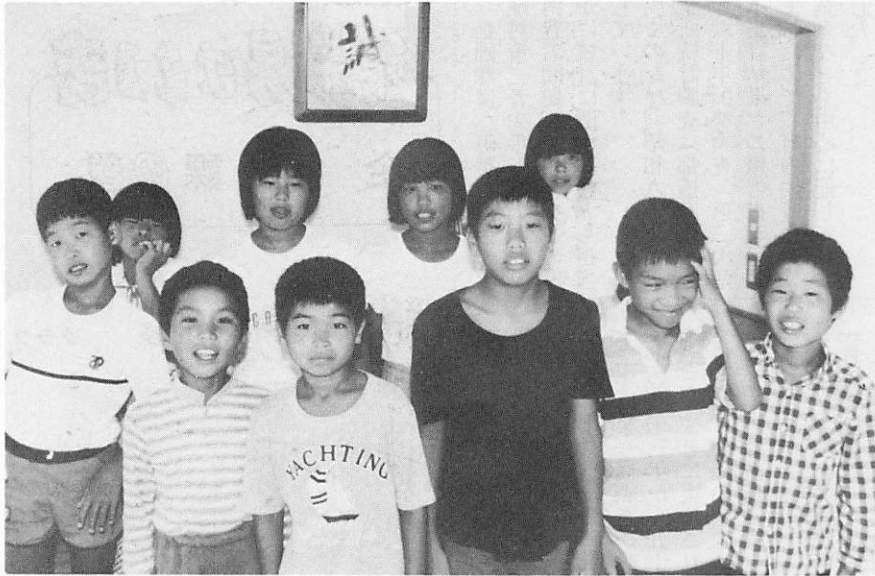
- （当）木 秀夫 二七八七
- 田川 章次 七三四
- （有 効 三五二一）
- （無 効 一一六）

清光園の子どもたち

元気で
がんばっています

今春、施設の老朽化に伴い小郡町から阿知須町河内地区に移転してきた養護施設「清光園」(西村一夫理事長、末岡実園長)。

園の子どもたちは今、本町に来て初めての夏を日焼けで真っ黒になりながら、元気一杯で過しています。そこで、移転してきてからいままでの園のようすを、小中学生を中心に紹介しましょう。



二学期もよろしく!

いい友だちが
できました

清光園は児童福祉法に定める養護施設で、家庭的に恵まれない子どもを入所させ、家庭に代って養護し、良き社会人として自立できるように育成することを目的にしています。

現在、園には夏休み中一時的に入所している子ども一人を含めて四十七人(定員六十)の子どもたちがいます。年齢

夏休み中も規律正しい
生活を送っています

夏休み中、小学生は六時起床、中学生は六時半起床。夜十時の就寝まで日課がきちんとたてられています。

園では心も体も健康な子どもたちを立派な社会人として自立させるために、規律正し

は二歳から高校生まで。

河内地区に移転して来たのが今年三月。小郡町の役場付近からの移転で、子どもたちは「店もないし、学校まで遠いので不便なところだなあ」と感じたらしい。

しかし、四月になって学校の子どもたちから大歓迎を受け、大喜び。一学期中、子どもたちにとって一番うれしかったことは「新しい友だちがたくさん出来たこと」です。

阿知須の子どもは、小郡の子どもと比べて「おとなしい子が多いけど、いい子どもがたくさんいる」とのこと。

「毎日のように、学校の友だちが園の子どもを訪ねて、遊びに来てくれますよ。ありがたいことだと思えます」と園の先生は、すぐに園の子どもたちを受け入れてくれた阿知須の子に感謝。

園から二十三人の子どもを預かった井関小学校の乃美昭介校長は「一学期中、園の子どもだから」といって特別の扱いはせず、地域の子どもと

い生活を送らせているのです。もちろん個々の子どもの生活に合わせる配慮もしてあります。

午前中、小学生は学校の水泳教室に、中学生は卓球やバスケットボールなどのクラブ活動にそれぞれ出席。午後はソフトボールの練習をみんなで行って、夜は勉強やテレビを見たりしています。

同じように過ぎせました。子どもたちは、態度や礼儀も正しく、とても明るいので友だちもすぐでき、当初の不安などは吹き飛んでしまいました。

もちろん、学校やPTA、地元の人たち、清光園がそれぞれ積極的に連携を取り合ったこともあります。特に、園の先生たちには子どもへの親がわりとして、PTAの夜の会議などにもよく出席してもらいました」と、園のしつけの良さと、園の先生が細心の注意を払っておられることを強調されました。

子どもたちにとって、うれしかったことの一つに「建物が新しくなったこと」があります。

ピアノや卓球台
などが増えました

約五千四百平方メートルの敷地に約千四百平方メートル(約四百坪)の建物。まわりは自然の緑に囲まれています。グラウンド、幼児用プール、

七月二十九日には、子どもたちは宇部市岐波に海水浴へ出かけ、一層、真っ黒になりましたが、八月中旬には身寄りのある子は帰省、ない子は一時里親の家へ行き、下旬に帰って来るようになっていきます。

「園の子どもたちが帰省している頃、園を卒業して就職した子どもが帰ってきます。

たといえば、今春東京の社会保険庁へ就職した子どもが、どんなにたくましくなって帰ってくるのか、今から楽しみです」と、園長、先生たちは本当にうれしそう。園での先生と子どもとのあいだの目に見えない愛情のきずなを感じさせました。

鉄棒、すべり台などの設備が整い、さらに七月には日本生命財団からピアノ、天体望遠鏡、卓球台、一輪車、ソフトボール用具など百万円相当の寄贈があり、設備は一層充実したとのこと。

地域の人たちから
励まされています

園の子どもたちは、学校の子どもたちやPTAの人たちだけでなく、地域のいろいろな人から受け入れられ、励まされています。

「町内の団体が慰問や見学に来られることがあります。ときには桃や魚などの食べ物や植物の苗など、善意のこもった品物を届けてくださることもあります」と、地域の温かい愛と励ましが子どもたちにとって一番大切なことであり、清光園も地域にとけ込むよう努力されているとのこと。

役場は1話

企 画 課 の 巻

企画課は「町勢の振興や土地対策、青少年・婦人問題、消費者問題、広報」などのほかに統計に関することも担当しています。

このたび、昭和六十一年事業所統計調査（都道府県別）と六十年国勢調査（第二次基本集計結果）の報告書が届きましたので、町内の産業や就業者などを中心に記してみました。

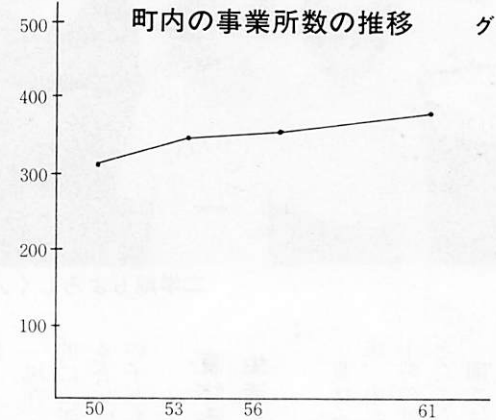
事業所統計

町内の事業所は増え 従業者は減る

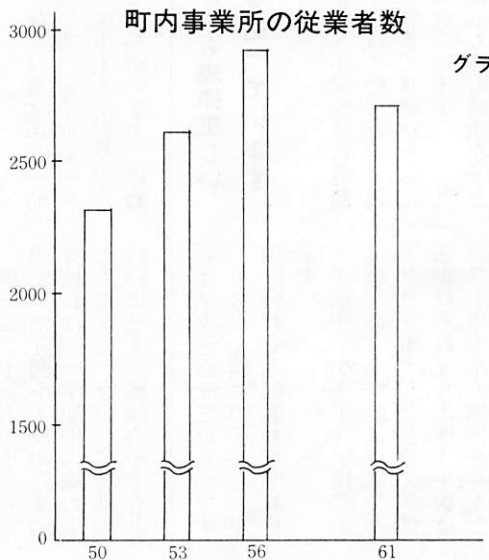
事業所統計調査は、個人経営の農林漁業を除く、製造業、卸売・小売業、サービス業など全国すべての事業所を対象としています。

調査項目は、事業の種類や経営組織、従業者数などです。統計法に基づく指定統計調

町内の事業所数の推移 グラフ1



町内事業所の従業者数 グラフ2



查（第二号）として、昭和二十二年に第一回調査が行われ翌年の二十三年から五十六年まで三年ごとを実施されてきました。今回の調査は前年から五年目に当たる第十四回の調査です。

調査の期日は六十一年七月一日現在でした。なお、調査の対象の捕え方は、調査年により違います。

町内の事業所は三百八十六で、十年前から見ても、わずかつづ増えているのがわかります。（グラフ1）

町内の事業所で働く従業者（個人業主、家族従業者、有給役員、常雇、臨時・日雇）は、五十六年の調査までは約三百人ずつ増えていきましたが、今回の調査では五十六年よりも約二百人減っています。（グラフ2）

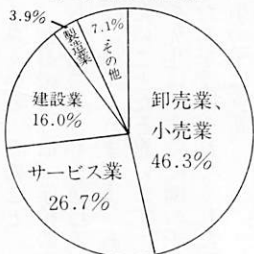
国勢調査
第三次産業は増え 第二次産業が減る
就業者
国勢調査は、わが国の人口を明らかにするために昭和十二年の臨時国勢調査を除く

従業者数の割合



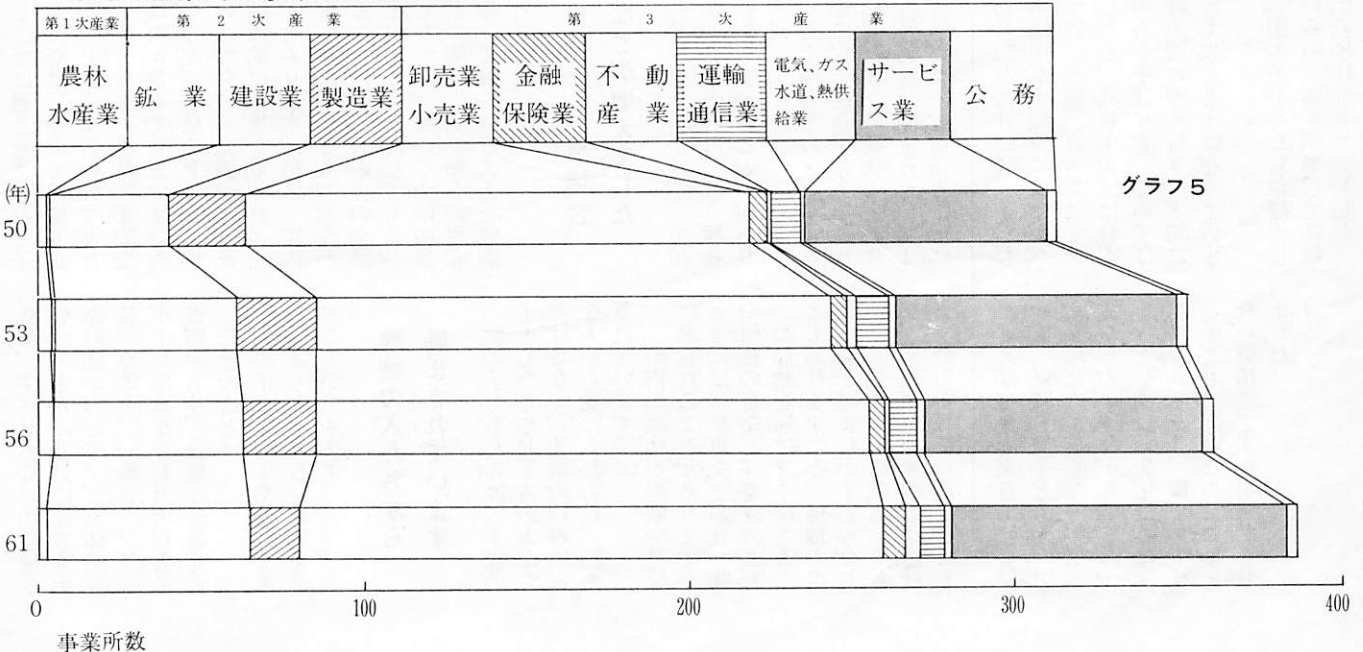
グラフ4

事業所数の割合



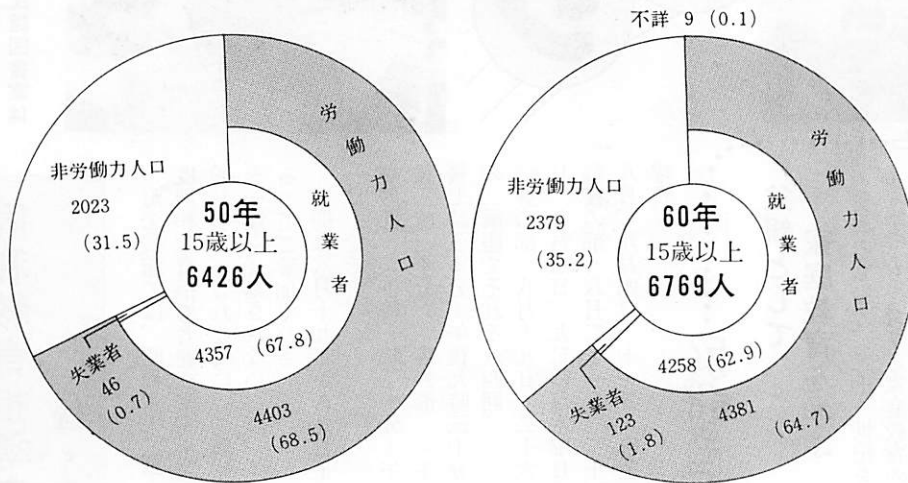
グラフ3

町内の産業別の事業所数の推移



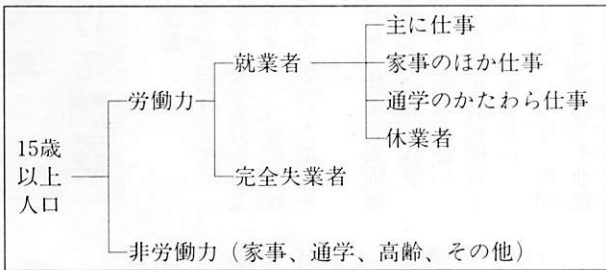
グラフ5

労働力人口



グラフ6

表 労働力人口の捕え方

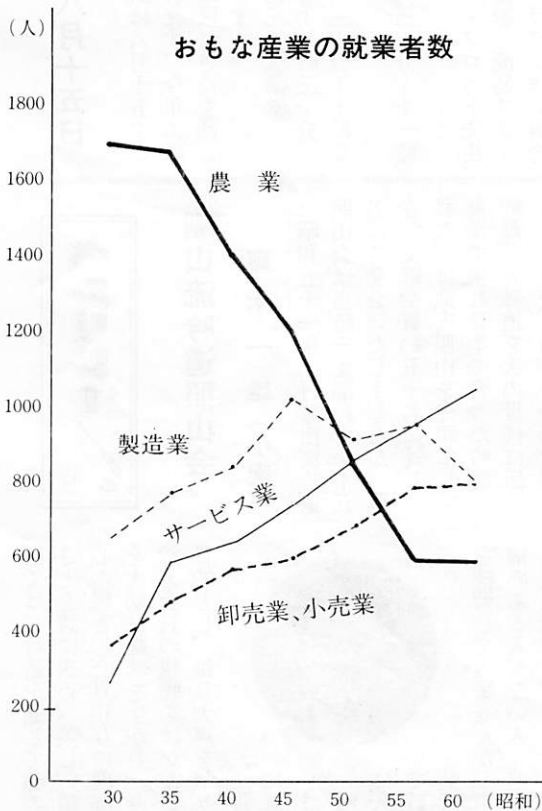


これは左表の区分によって、十五歳以上の人口を区分したものです。
 注意したいのは、就業者とは町内で働いている人だけでなく、町外、県外で働いている人や、休業中の人も含んでいるということです。
 比較してみると、十五歳以上の人口は六十年の方が約三百四十人増えているのに、労働力人口や就業者が減り、非労働力人口や失業者が増えているのがわかります。
 産業別の就業者をみてみましょう。(グラフ7)
 激減していた第一次産業の就業者は五十五年からはほぼ横ばい状態となっています。
 第二次産業は大きく減り続けています。
 第三次産業は逆に大きく増

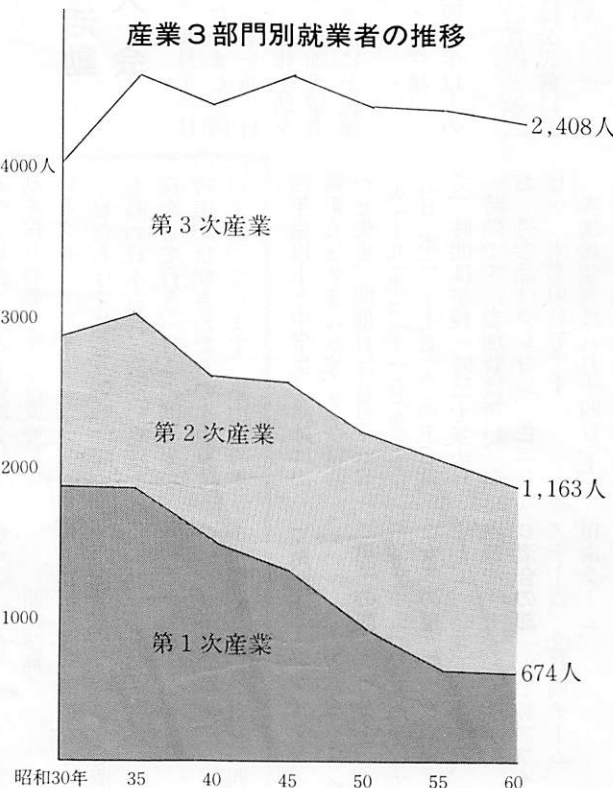
て大正九年以来五年ごとに行われており、六十年国勢調査は第十四回に当たります。
 対象は、わが国に六十年十月一日現在で「常住」している人。
 「常住」とは「昭和六十年十月一日現在、調査を受けるところに三か月以上住む、あるいは三か月以上にわたって住むことになっている」という意味。(一部例外規定もあり)

ます)
 なお、国勢調査の結果については今まで確定数(本町の人口は八千四百七人、二千三百三十四世帯)や第一次基本集計結果(世帯や住居に関する基本的な結果)を既報済み。
 まず、労働力の状態について五十年と六十年を比較しながらみてみましょう。(グラフ6)

グラフ8



グラフ7

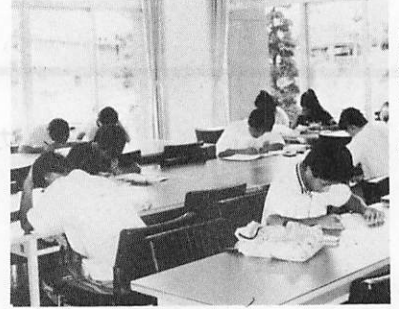


え続けていることがわかりました。(グラフ8)
 では、内容をもっとくわしくみてみましょう。
 四つの特徴的な産業の就業者数の推移をグラフにしてみ

ました。(グラフ8)
 第一次産業の農業に就いている人は激減していましたが、五十五年で止まり、横ばい状態になりました。
 第二次産業の製造業に就

ている人は、四十五年を頂点にやや減少しています。
 第三次産業の卸売・小売業やサービス業に就いている人は、激増しているのがよくわかります。

夏休み中、公民館図書室は利用者で一杯



公民館だより



同和教育指導者養成講座 昼・夜に分けて開設

町公民館では、昭和六十二年度同和教育指導者養成講座を開設します。これまでにこの講座を一度も受講されない方は、ふるってご参加ください。

期間は八月十九日から九月十一日までです。

昼の部 (午後一時三十分～午後三時三十分)、夜の部 (午後七時三十分～午後九時三十分)の二講座でそれぞれ四回。

◎昼の部 八月十九日、二十一日、九月二日、九日の毎水曜日。
◎夜の部 八月二十一日、二十八日、九月四日、十一日の毎金曜日。

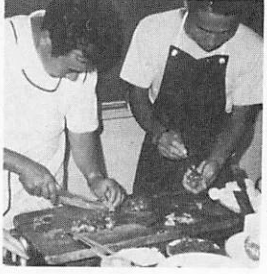
内容及び講師
「身分制度から新法まで」
講師 宇部市教育委員会社会教育主事 浅原節男氏
「一般差別の中から見た部落差別」
講師 山口地方事務局人権擁護課長 寺岡 保氏
「差別の体験と教育への願い」
講師 上宇部区生野地区自治会長 大西喜八氏
なお、募集については、町同和教育推進委員や各種団体でお世話していただくことになっております。締切日は八月七日(金)まで。

父親として 家庭教育を学ぶ

父親の立場で、二十一世紀を担う子どもを育てる家庭教育のあり方について学んでいます。公民館では、父親学級を六月十八日から毎週木曜日(夜七時から)八日間開催。

学級生のみならずは昼間の職場の疲れも見せず、家庭における父親の理想像を求めて、熱心に講師の先生方のお話を受講されています。「子どもは母親の胎内にいる時に既に父母の会話を聞いている」とか「夫婦円満が

最高の性教育である」などのお話がありました。また、テニスの実技・夜食の作り方も実習しています。日頃台所に立つことの少ない父親が慣れない手つきで作る夜食料理に、会場は笑顔と歓声にあふれています。



スポーツ・ライト

成人式は八月十五日

本町の成人式は八月十五日(土)公民館で行われます。今年の該当者については区長さんを通じてご案内しています。

場所 町公民館三階大講堂
受付 午前九時～九時三十分
式典 午前九時三十分～十時三十分
記念講演 十時三十分～十一時三十分
講師 ルドルフ・プロット先生
講演後は記念撮影、簡易スポーツテスト、アトラクション等を行い午後三時に終了。

少年野外活動 交流大会

教育委員会では、八月十一日十二日の二日間、たくましい阿知須の子がキャンプを通じ自然に親しみながら、団体生活を身につけるもので、参加希望者は、八月七日(金)までに公民館に申し込みのこと。

場所 岡山墓苑キャンプ場
参加対象は小学校四年生以上の児童。
参加費 一人、千二百円と米二合。詳細については公民館にお問い合わせください。

夏休みまんが教室

八月十八日から五日
公民館では、夏休みを楽しく過ごそうと、夏休みまんが教室を開きます。対象者は、小学校



剛山流吟道照山会

藤本 一雄 (小南)

昭和五十一年二月剛山流吟道照山会は当時一支部わずか十五名にて発会いたしました。現在六支部会員約五十名に達し、私たちは武安照山を先頭に、東洋で生れ日本で育った吟詠。剣舞。詩舞道を次の世代に伝えるべく日夜、詩の心を朗々吟じ剣を振り詩舞を楽しみ愛好しているグループです。

私たちは今後益々詩吟に関心を高め日本古代と芸能の真髄を探究して行き、日本の隅々まで吟声がひびきわたるのを夢見てがんばっています。剛山流吟道



会では、吟道を通じて魂のふるさとを詩に求め、美しい精神を心の糧とし会員相互の理解と和を大切に趣味を生かし、身心を鍛え会員の親睦をはかることを目的とし、毎日大声を張り上げてけい古に励んでいます。

照山会に入会して詩吟や剣舞などを練習してみませんか。声に自信のある人、ない人、どなたでも大歓迎です。

朗吟精神
吟道は気を養うの道なり
一声士気高し、吟終りて清風起る
一吟天地の心
連絡先
事務局 藤本 一雄 電話二四三四

各種大会の成績

- ▽町内野球大会 (7/12)
- ①小古郷チーム、②砂郷チーム、③岩倉チーム、寺浜チーム、

- ▽町内オープンインディアカ大会 (7/12)
 - 男子の部 ①東条チーム、②飛沖チーム、③河内源河チーム
 - 女子の部 ①阿知須レディースチーム、②商工会チーム、③河内源河チーム、
 - 混合の部 ①TKファイターズチーム、②巨岡チーム、③縄田南チーム、
- ふれあいサイクリングは八月三十日(月)に開催
参加者 小学校四年生以上の親子。参加料 六百元(保険料、昼食代含む)。申し込みは、八月二十二日までに公民館へ。



「ふれあい広場」はみなさんのページです。町政への提言や身近な話題、絵画、写真など町企画課（有線二一四四）へお寄せください。



新しい消防団長
白井 昭 (裕さん) 北祝

町消防団長を五年半務められた河村豊さんの後を継いで、六月から新団長に。

昭和二十八年に入団されて三十三年目。現役では三番目の古参ですが、入団当時の思い出は

「当時の消防団は、今のよう本部と三つの分団に分かれてなかったと思います。まだ人力の手押しポンプを馬が引っ張る時代で、消防器庫は今の中村区のは



公民館（旧商工会事務所）のところにありました。団員は四十

人ぐらいでしたね。新入りの私は西条の河原でホースを洗い、西岡梅一さん宅前に昔は大きな松が一本あったので、その松にホースを干していたのを覚えて

います。苦勞も多かったでしょう。「阿知須の火事は冬場に多いんですね。昔は、現場から重いねじ込み式のホースを肩にかついで帰り、河原でワラを束ねたタワシを使って洗ってましたが、水は冷たいし、手がしびれるよ

うで、寒くて困りましたよ。火災などで記憶に残っているものは

「宇部の山火事の応援に行つて火を消すために、逆に火道をつける」といって、火の進行方向に向けて火をつけたことがあります。火を消すための消防団が、火をつけることがあるのをそのとき知りました。町内では家火事などをよく覚えていきます。町内三分団、六十六人の団

短歌

正司 ウメノ
大雨の降りたる後の空中にまひるの如く月冴え渡る

平海 アサノ
小さき苗木植えて七年畑すみの梅は太き実をつけにけり

藤重 アヤ子
濁りたる川の流れに白鷺が波紋見つめて動くともせず

松尾 君代
起きろよの目覚し置きて孫行きぬ目覚めにわが聞くその幼声

古谷 トメ
朝庭に聞くホーホケキウの鳴き声は長き短きありて面白

師井 泰枝
油断して渴きし稲田はメイ虫に喰れて赤く色の変れり

松重 三次

われ死なば賀茂に流して小魚の餌じきになせの祖師の遺言

藤重 幾代
ほの暗く池を覆へる青葉の蔭つるみしまの糸とんぼ飛ぶ

桜井 文字
寿司にぎり酔の臭ふ手に針運ぶ攘えど蠅の又止りくる

木原 百合雄
この春に彼女の呉れし瓢の苗小果をつけて秋を待つなり

松代 二郎
日旺は絵を描くべしと思ふ息にソフトボールに昼賑々し

砂村 ヤス子
喪主の姪髪を束ぬるいとまなく指図してをり喪服のままに

中本 幸枝
稲を踏み大豆引抜き水浴びる鳥を追ひつつ田廻りをする

三住 清子

白さぎの羽を広げて青田へと舞い下り餌をついばむ姿

古谷 ハナコ
十七夜祭慰問に見えしおきなごの舞踊のかずかず愛らしく見ゆ

塩見 チヨコ
むすこらが成人せし今わびしくて短歌を作りて一人やすらぐ

吉村 米一
梅雨の時期古往今来的確に未来永却連綿として

村田 ウメノ
幼な娘の舞いし姿のかわいくて孫のおもかげ抱きつほほえむ

田頭 フテ
母の日に嫁に貰った湯あがりや老はよろこび有がたく着る

渡辺 宮子
夜べからの集中豪雨に木屋川の川底深く鯉は群れをり

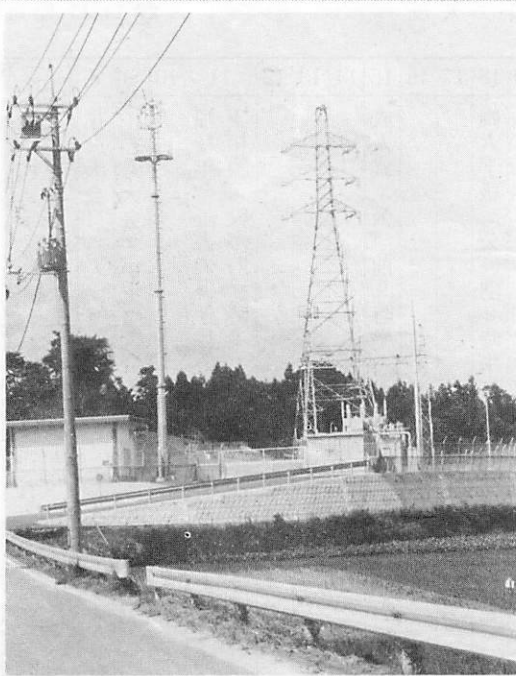
河内地区に変電所

員を率いる団長としての考えは「町内では一年に五、六件の火事が発生しています。一日でも無火災の日を伸ばしたいのが私の念願です」。そのために私たちが心がけるべきことは

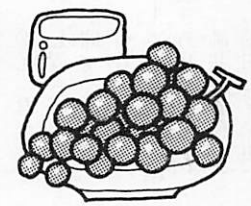
「町の消防団員は、それぞれ自分の仕事を持っていますが、いざというときは自分を犠牲にして、みなさんの生命、財産を守っています。火事を起こさないようにするのはもちろんですが、万一の場合、通報と初期消火をきちんととして、団員が現場に着いたら団員にまかせて欲しいですね」。 専業農家。知事認定の指導農業士で「日本の農業を守るには、消費者に合ったものを作る努力が大切。そのためには土地の基盤整備と特産物の生産が必要」と、農業問題についても熱っぽく語られた。農協理事、町選管の委員でもある。父新作さん（昨年死去）について父子二代の消防団員。妻の澤子さんと二人家族。

このたび中国電力（宇部電力所）の阿知須変電所が河内地区に建設され、七月十日から運転が始まっています。（写真左）

設備は、六万六千ボルトの送電線から六千ボルトの配電線に送り出す変圧器（一万キロボルトアンペア）が設置されており、これは一般家庭約二万户に供給できる規模。 無人で、宇部市の制御所から遠隔監視で制御されています。 総工費は約二億円とのこと。 将来の電力需要の伸びに対応して、もう一台変圧器を増設できるようになっています。



おし らせ



ごみ収集も盆休み 八月十五、十六日

お盆のごみの収集は八月十五、十六日の両日が休みとなります。

このため、井関小学校区のごみの持ち出しは八月十一日まで、阿知須小学校区は十三日までとなります。(時間はどちらも午前七時半まで) また、清掃センターへのごみの持ち込みは十四日までお願いいたします。

なお、直接清掃センターへ持ち込みをされる場合、燃えるごみと燃えないごみを仕分けして午前七時半から午後二

時(厳守)までに出してください。

山口保健所で エイズ検査を実施

山口保健所ではエイズ(後天性免疫不全症候群)予防対策の一つとして、エイズ抗体保有検査を希望者に次のとおり実施します。

▽受付日時 毎月第一、第三月曜日、午後一時から二時まで

▽場所 山口保健所二階

▽料金 千六百八十円(採血料八十円を含む)

▽その他 結果を本人に約三週間後に告知

病気で困りの母子家庭などに介護人を派遣します

中学卒業までの児童を扶養する母子・父子家庭や六十五歳未満の一人暮らしの寡婦の人で、一時的な病気で日常生活を営むのに支障がある場合に、あらかじめ登録されている家族へ介護人を派遣します。

登録を希望する人や、くわしいことをお知りになりたい人は八月二十五日までに住民課福祉係へご連絡ください。

産業事情や求人 採用計画の説明会

山口県経営者協会では、県内に立地する会社の産業事情と求人採用の計画などに関する知識を、学生や教師、父兄に持つてもらうために、次のとおり説明会を開きます。

▽日時 八月二十五日(火)午後一時~四時

▽会場 ホテルかめ福(山口市湯田温泉四丁目五十二)

▽参加費 一人につき千円

海技免状も更新制度

海技免状(船の運転免許証)にも車と同じ更新制度が導入されることになりました。

今回、対象となる人は昭和五十八年四月三十日以降、新しい海技免状の交付を受けた人で、免許の有効期間の起算日から満四年を経過し、五年までの人です。

くわしくは、阿知須釣友会長の天野祐成さん(繩北、二六八三(三)三五五)か、中国運輸局徳山海運支局(徳山②〇一八〇)九州運輸局宇部海運支局(宇部部②一四一七)へお問い合わせください。

死亡(冥福を祈ります)

氏名	死亡日	年齢	住所
長久 重善	6	27	71小西
山田 シヅエ	6	26	64築地
福嶋 榮治	7	5	91井関
谷口 ウメ	7	12	85沖の原
小田 長太郎	7	14	86沖の原
北野 榮治	7	14	82旦北
北野 トク	7	15	100沖の原
北野 利昭	7	21	48旦北

善意は ここに

〈町へ〉
◇広報送料▽江村八重子さん(徳山市大字別所)
◇町社会福祉協議会
◇香典返し▽金満富士雄さん(砂三)は父信雄さんの▽眞虹

よるなほ かなしみ

(七月二十五日受付分まで)
出生(おすこやかに)
親の名 続柄子の名月日住所
藤重哲也長女友美6 20 岩上
上野郁雄長男 満 7 11 繩南

町民カレンダー 8月

(役...役場 公民館 体育センター)

8	花火大会
9	子ども大会スポーツ大会
10	福祉年金証書の書き替え(郵便局前、12日まで)健康相談(役、前9時半)育児相談(役、後一時半)
11	成人式(公、前9時半)
12	婦人学級(公、前9時半)
13	近郷ジュニアバレーボール大会(体、前9時)
14	登録日(町内三校)
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	家庭婦人バレーボール大会(体、前9時)住民検診、肺がん検診(9月4日まで)
31	

人の動き	
住民登録	(昭和62年7月31日現在) 人口... 8,272人 (男...3,844人) (女...4,428人) 世帯... 2,279 昭和60年国勢調査 (人口...8,407人) (世帯...2,334)
7月の動き	
出生	3人
死亡	6人
転入	10人
転出	14人

納税 町民税 国民健康保険税